

## 令和3年度 自己評価報告書 <八戸学院聖アンナ幼稚園>

### 1. 令和3年度重点目標

モンテッソーリ教育を実践しつつ社会に開かれた質の高い教育を目指す

### 2. 評価項目の達成および取り組み状況

		具体的な取り組み内容および取り組み状況	評価
①	内容	<u>カリキュラムの見直し</u> 園児および教員にとって相応しいカリキュラムの構築 丁寧な教育・保育の実践	C
	状況	これまでのカリキュラムを見直し現状に相応しいものを目指したが今後も更に取り組む必要がある。 尚、全教員がカリキュラムについて話し合うことが丁寧な教育・保育へ繋がることを感じた。	
②	内容	<u>子ども理解への取り組み</u> 多様な状況の園児一人ひとりの理解に努め適切な教育・保育の実践 保護者との連携	B
	状況	クラス担任および学年別グループ担当の立場から、園児の状況把握に努め一人ひとりの状況に合わせた関わりを検討した。 子どもの様子など保護者との情報共有に努めたが更に細やかな対応への課題を感じている。	
③	内容	<u>教員研修の充実</u> モンテッソーリ教育への学びを深める 日々の研修に努める 外部研修への積極的な参加	B
	状況	コロナ禍ではあったがリモートの活用で多くの研修に参加することができた。しかし対面での研修の良さも実感した。 日常生活および教具提供の園内研修を実施した。(年間6回) 新たな試みとして、教頭などモンテッソーリ専門コースを修了している教員2名が平常の保育においてクラス運営を行い、それを教員1名が週替わりで見学するという研修を実施した。	

評価 (A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

### 3. 総合的な評価結果

評価	理由
B	モンテッソーリ教育の実践を教育・保育活動の柱とし、一人一人と丁寧に向き合うことを大切にしてきたが、その中で多くの課題も見えてきている。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

### 4. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	モンテッソーリ教育の充実	子ども理解に基づく教育課程の構築 自然体験、実体験の充実 教員の資質向上（各種研修への参加・園内研修の充実） 行事の見直し 園内運営組織および日常業務の見直し 園内環境の整備
2	法人内教育施設との連携	英語・音楽・造形などの各教育活動での連携 行事における法人内教育施設との連携
3	保護者および地域との連携	保護者および地域への情報発信 子育て支援の充実 幼小連携への取り組み

